

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2010年4月

コミッティ活動

Accounting: 担当森田(tmorita@isda.org)

IASB との間で開催が予定されている、日本におけるヘッジ会計ルールに関する円卓会議でのプレゼンテーション資料の草案が、Japan Accounting Committee メンバーに回覧された。円卓会議は5月11日に下記の議題で行われる予定。

- ・本邦企業におけるリスク管理とヘッジ会計の重要性
- ・ヘッジ会計適用上の、本邦企業におけるヘッジニーズと課題
- ・日本の会計基準に基づくヘッジ会計の取り扱い
- ・現状に見合ったヘッジ会計ルール作りの提案

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

金融庁は、2月にISDAが意見書を提出した店頭デリバティブにおける説明責任ルールなど、投資家保護を目的としたルールに関する「主要行等向けの総合的な監督指針の一部改正」(監督指針)を発表した。改定版では、最悪の場合を想定したシナリオでの最大損失額または満期日以前の解約に伴う損失について、顧客にわかりやすいよう、書面による説明を必要とするなど、店頭デリバティブとストラクチャー商品を販売する際に金融機関に課せられた責任に焦点を当てている。

Collateral: 担当森田(tmorita@isda.org)

本邦金融機関と外資系金融機関22社の参加による「東京市場におけるOTCデリバティブ取引の担保化に関する市場調査」の調査結果が、4月27日、Japan Collateral Committeeのメンバーに回覧された。

Regulatory / Credit Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org) / 難波(knamba@isda.org)

JALオークション:

4月22日、ディーラー14社が参加して、Japan Airlines Corporationに関するCDS取引を清算するためのオークションが行われた。日本における2件目のオークションとなる。

ISDAは4月26日、メンバー企業の代表者と外部カウンセルと共に、日本銀行職員を対象として、JALオークションをレビューするためのセッションを行った。

Weather, Commodities & Developing Products: 担当森田(tmorita@isda.org)

不動産デリバティブ

4月8日、不動産デリバティブ・ワーキンググループは、銀行が不動産インデックスデリバティブ取引を開始する際に発生することが予想される規制上の諸問題について話し合うため、ミーティングを行った。メンバーはまた、本邦不動産インデックスの上昇(IPD、AJPPIなど)を含む、不動産デリバティブの現状について意見交換を行った。市場の動きは依然としてやや低調であるが、日本インデックス用のコンファメーションの雛型に関する話し合いを5~6月に再開することについて、同意がなされた。

年次総会

第25回ISDA年次総会が4月21日から23日までサンフランシスコで開催された。規制当局、大学教授、市場関係者など、業界内の多岐に渡る専門家、プロフェッショナルたちが、店頭デリバティブ市場のさらなる安定に向けた業界努力につ

®ISDA is a registered trademark of the International Swaps and Derivatives Association, Inc.

いて、話し合いを行った。

高橋 敦 氏(みずほコーポレート銀行)の理事期終了に伴い、中島 豊 氏(野村證券)が、新しく ISDA 理事会メンバーとして選出された。

ISDA は高橋氏の ISDA への貢献に感謝の意を表するとともに、中島氏の参加を心より歓迎いたします。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

ISDA/IASB Roundtable Session (英語によるビデオ会議)	5月11日
Credit CCP Working Group (日本語による会議)	5月21日
Credit Derivatives Conference at Happo-en (日本語によるコンファレンス)	5月27日

スタッフ・ノート

4月26日付にて、仁平 朱美(にひら あけみ)がカンファレンス&メンバーシップ担当アシスタントとして東京事務所に加わりました。